



1. 投稿資格

本誌への投稿は会員を原則とする。ただし、編集委員会が寄稿を依頼した場合はこの限りではない。

2. 投稿原稿の内容

特定課題の研究成果をまとめた総説、会議の結果・研究プロジェクトの解説等とする。

3. 原稿の査読

編集委員会は、受け付けた原稿の査読を複数の専門家に依頼する。その結果、内容や体裁に問題があると判断された場合には、その旨を著者に伝え修正を求める。修正を求められた著者は指定された期限までに速やかに再投稿することとし、2ヶ月を過ぎれば新規として扱う。受理できないと判断された場合、理由を明記した上で著者に返送する。細部の体裁等については、編集作業の段階で手を加える場合がある。

4. 原稿の受理

担当編集委員がその論文の掲載を可とし、編集委員長がそれを認めた日付を受理日とする。

5. 原稿の書き方

(1) 字数・文字種：

- ① 刷りあがり8頁以内とする。印刷1頁当たりの文字数は2,200字程度。図・表がない場合は、次の「(2)構成の①」にある必要事項をすべて含めて17,500字以内を目安とする。図・表は、小さいものでおおよそ600字程度、大きいもので1,200字程度に換算し、8枚までとする。なお、刷りあがりページ数が8頁を超える場合には、2頁当たり2万円で掲載することができる。
- ② 字体は原則としてすべて全角文字。ただし、欧文及び算用数字は半角文字にて入力すること。

(2) 構成：

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none">① 第1頁には、以下の項目を表記する。<ul style="list-style-type: none">・表題(日本語と英語訳)・和文簡略表題(ランニングタイトル)・著者全員の氏名(日本語と英語)・それぞれの所属機関(日本語と英語)・住所及びメールアドレス(第一著者のみ)② 本文では、章はアラビア数字の連続番号で、節は章の番号と一緒に用いて1.1のようにする。 | <p>第2頁以下は、次のような順でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none">・摘要(日本語で400字以内)・キーワード(日本語で5つ程度、50音順に並べる。対応する英語訳も記載する。)・本文・引用文献・図・表、図表キャプション |
|---|--|

(3) 文体：

- ① 文章は口語体として、現代かな遣い・常用漢字を用いる。外国語は原語表記を原則とするが、原語によってはラテン文字化を必要とする場合がある。
- ② 単位は原則としてSI単位を用いる。

(4) 図・表：

- ① 図・表は、それぞれ「図1」、「表1」のように通し番号を付ける。写真は図として扱う。
- ② 本文中に、図・表の挿入位置を指示する。
- ③ カラーの図・表も無料で掲載できる。図・表はすぐに印刷にまわせる状態のものとする。(Word文書に貼りつけたりPDFなどに変換せず、元のデジタルデータの状態のものが望ましい。)なお、図表の大幅な修正が必要と判断された場合、作製料は著者負担となる。

(5) 数式：数式は上下に1行ずつあけて明瞭に書く。数式の画像データを貼りつけたものは掲載できない。

(6) 略語：略語を用いる場合、原則として初出時に完全名を書く。

(例) MOE (Ministry of the Environment, 環境省), Ministry of the Environment (環境省, MOE)

(7) 注：注は極力用いない。どうしても必要な場合、論文末に一括掲載する。注番号は通し番号とし、注1)、注2)、注3)と上付きで表記する。

(8) 引用文献：

- ① 本文中で言及もしくは引用した文献は、漏れのないようにすべてを文献リストに記載すること。反対に、文献リストにあげた文献は、必ず本文中に対応する文献がなくてはならない。
- ② 「(in press)」は、その論文が雑誌に受理されている場合にのみ使用し、それ以外の場合は、本文中で、「(unpublished)」とし、引用文献には入れない。



- ③ 本文中での文献の引用は、以下の例にならうこと。
- ・著者1名の場合：渡辺 (2005), (Watanabe, 2005)
 - ・著者2名の場合：Watanabe and Kachi (2008), (渡辺・可知, 2008)
 - ・著者が3名以上の場合：渡辺ほか (2010), (Watanabe *et al.*, 2010)

- ④ 引用文献リストでの記載は、以下の例にならうこと。

雑誌、定期行物からの引用：

- ・著者名 (発行年) 表題. 雑誌等名, 巻(号), 初頁-終頁. DOI, または URL (xxxx年x月xx日 確認)
- ・ Author, A.A. and Author, B.B. (Year of publication) Title of article. *Title of Periodical*, Volume number (Issue or part number), pp-pp. <http://dx.doi.org/xxxx>
- ・ Author, A.A., Author, B.B. and Author, C.C. (Year of publication) Title of article. *Title of Periodical*, Volume number (Issue or part number), pp-pp. Retrieved from <http://xxxxx> (xxxx年x月xx日 確認)

本、参考書、パンフレット等の引用：

- ・著者名 (発行年) 書名, 版表示, 出版社, 出版地. DOI または URL (xxxx年x月xx日 確認)
- ・ Author, A.A. and Author, B.B. (Year of publication) *Title of book*, Edition, Publisher, Place of publication. <http://dx.doi.org/xxxx/>

本、参考書、パンフレット等からの一部引用：

- ・著者名 (発行年) 表題. 編者名 (編), 書名, 初頁-終頁, 出版社, 出版地. DOI または URL (xxxx年x月xx日 確認)
- ・ Author, A.A. and Author, B.B. (Year of publication) Title of chapter. *In*: Editor C.C. and Editor, D.D. (eds.) *Title of Publication*, pp-pp. Publisher, Place of Publication. Retrieved from <http://xxxxx> (xxxx年x月xx日 確認)

文献の配列は、文献の言語にかかわらず、第一著者の姓をアルファベット綴りとした場合のアルファベット順に並べる。その際、すべての著者が同じ文献が複数ある場合には、年代の古い順から並べる。さらに著者と出版年が同一の場合には、発行年の後にアルファベット（小文字）をふって区別すること。

著者名は、すべて記載する。

雑誌名等は、省略せずフルネームで記載する。

外国語雑誌等からの引用の場合、著者名・タイトル等は原語表記のままとする。

電子版の場合はDOIをDOIがなければURLとその確認日を記載する。

6. 原稿の送付

デジタル原稿とともにプリントアウトした原稿一式を提出する。デジタル原稿については、CD-ROM に書き込んだものをプリントアウトした原稿とともに簡易書留等でお送りいただくのが一番好ましいが、メールの添付ファイルでも受け付ける。図・表は1点を1枚に印刷し、1点ずつ氏名を記入すること。

7. 原稿の返却

原稿は著者に返却しない。ただし、図・表・写真については、投稿時に申し出があれば返却する。

8. 校正

掲載が決定した原稿は初校のみ著者に送付するので、速やかに校正し、指定の期日までに返送する。著者校正時における文章や図表の大幅な追加・削除・変更は認められない。

9. 別刷り

別刷りが必要な場合には、費用は著者負担となる。

10. 著作権

本誌に掲載された原稿の著作権は、一般社団法人国際環境研究協会 (AIRIES) に帰属する。